

2.4.1 定着地盤の選定

定着対象は長期耐久性を考慮して、軟岩程度以上の固結度を有す地盤とする。

表 4.1.1 許容引張荷重の適用範囲

タイプ	許容最大荷重 (kN)			定着地盤の一軸圧縮強度 q_u
	永久(常時)	永久(地震)時	仮設	
300Ws	343.8	445.5	372.5	1Mpa 以上
800Ws	768.6	982.8	832.7	

表 4.1.2 定着地盤について(参考)

山留めアンカー	構造物の浮き上がり・ 転倒防止アンカー	地すべり防止アンカー 斜面安定用アンカー
仮設アンカー	永久アンカー	永久アンカー
良質な地盤 一般に N 35 の砂質土、 q_u 250kN/m ² の粘性土(日本 建築学会)	強固な地盤。土木では岩盤が多 い。 建築では一般に洪積層あるいは それより古い地層	強固な地盤。通常、岩盤が多く、過 去に地すべりを生じていない地層。 クリープ特性や風化・亀裂の程度に 注意が必要。

(地盤工学ハンドブック, 1999.3, P.721 表 4.2.37 アンカー設計における留意事項より)

なお、定着地盤の目安となる一軸圧縮強度の推定方法として次式を提案する(“ N 値及び $c \cdot$ 考
え方と利用 P.83 図 4.14, 地盤工学会, 2002” に示す実測値より)。

$$q_u = \frac{N}{40} \quad (\text{N/mm}^2)$$

これより 1Mpa の目安としては“ N 値 40”となる。